

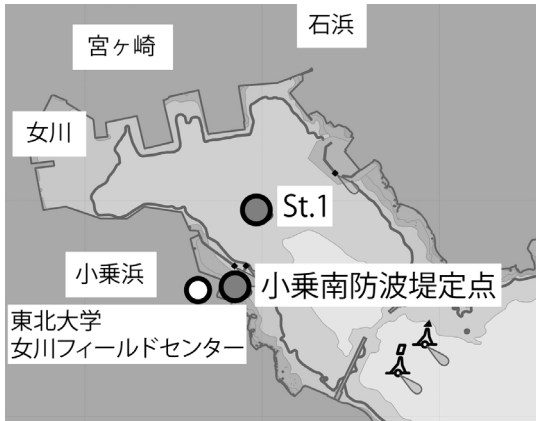
週刊 女川湾海況速報 (No.5)

発行：東北大学女川フィールドセンター

東北大学マリンサイエンス復興支援室

8 月 16 日から 17 日の小乗南防波堤定点と St.1 の海洋観測情報

観測点



小乗南防波堤定点の結果

①水温・塩分：先週と比較して、水温は特に表層（0m）で上昇。鉛直的には水深とともに下降。表層（0m）と底層（5m）で 1.2～3.3℃の水温差。塩分も先週と比べて上昇傾向。外洋水の影響と推定。

水深 [m]	8 月 16 日 (木)	8 月 17 日 (金)
0	22.4 (33.7)	23.1 (33.9)
5	21.2 (33.7)	19.8 (33.8)

水温の単位は℃。カッコ内の塩分の単位はパーミル（千分率）。1 パーミル = 1PSU（実用塩分単位）。

②濁度：17 日に底層近くで顕著な上昇。

水深 [m]	8 月 16 日 (木)	8 月 17 日 (金)
0	0.7	0.7
5	0.6	1.1

（単位は FTU）

③溶存酸素：先週と比べて、下降傾向。7～8mg/l 台を維持。

水深 [m]	8 月 16 日 (木)	8 月 17 日 (金)
0	7.7	7.9
5	7.9	7.7

単位は mg/l。水産用水基準（水産動植物が正常に生息および繁殖ができる値）：4.3mg/l 以上。

St.1 の結果

水温は水深とともに下降。水深 0m と 5m の間に大きな水温勾配（2.3℃/5m）。塩分は水深とともに上昇、全層で 33.7 パーミル以上。外洋水の影響と推定。濁度は 0.5～3.0FTU。溶存酸素は 7.2～8.1mg/l。

8 月 17 日

水深 [m]	水温 [℃]	塩分 [パーミル]	濁度 [FTU]	溶存酸素 [mg/l]
0	22.3	33.7	0.5	7.9
5	20.0	33.7	0.6	8.1
10	19.1	33.7	1.3	7.3
15	18.0	33.8	2.1	7.2
19	17.5	33.9	3.0	7.3

本データの利用については、東北大学マリンサイエンス復興支援室

Tel.: 022-717-8827

Fax: 022-717-8828

E-mail:

[agr-marin@bureau.tohoku.ac.jp](mailto:agr-marin@bureau.tohoku.ac.jp)

までお問い合わせください。